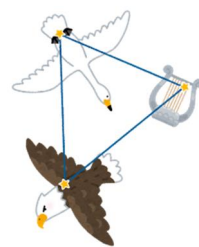
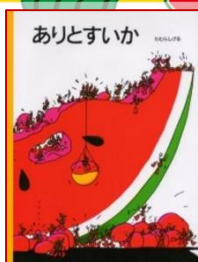




梅雨^{つゆ}が明^あけたわけでもないのに、暑い日^{あつひ}が続^{つづ}いています。
外^{そと}で遊ぶ^{あそ}のが危険^{きけん}な日^ひには、エアコンが効^きいた部屋^{へや}で、
読書^{どくしょ}にいそしむのもいいのではないでしようか。



季節^{きせつ}に合わせて



『ありとすいか』
たむら しげる : 作
ポプラ社 E/タ

ある あつい なつの ごご、
ありが すいかを みつけて
やってきました。

これは うまいぞ すに はこぼう
ということに なりました。

さて…



『わすれないうで』
小林 新子 随想舎 21/コ
1945年7月12日、午後
11時過ぎにB29の編隊に
よる空襲が始まりました。
使用された爆弾はE46集束

焼夷弾10,500発、M47焼夷弾2,204発であり、計802.9tにもなります。
当時の宇都宮市の65%が被災し、死者
628名、負傷者約1,150名、焼失戸数
9,490戸といわれています。

忘れないために、私たちに何ができるで
しょうか。

3日には、この空襲でも生き残った
大イチョウをモチーフにした宮っ子ランチ
が給食で出ました。

ブックトークをします♪

全クラスで夏休みの読書感想文課題図書^{ぜんクラスで なつやす どくしょかんそうぶんかだいとしよ}のブックトークをします。毎年ブックトーク
の後には、紹介した本に興味をもってくれる子が多いので、子供たちがどんな反応を返
してくれるのか、今から楽しみです。

低中^{ていちゅうこうがくねん}高^{さつ}学年で4冊ずつある課題図書から、1冊ずつ紹介します。



『アザラシのアニョー』
あずみ 虫 : 作
童心社 E/ア



『いつかの約束1945』
やまuchi えつこ : 作
岩崎書店 913/ヤ



『ぼくはうそをついた』
にしむら そぐり : 作
ポプラ社 913/ニ

たなばた

七夕あれこれ

日本の七夕祭りは、中国の美しい伝説と日本の古い行事が結びついてできました。

7月7日の夜、橋を渡って出会う織姫と彦星の伝説を知っていますか？

この織姫は機織りの名人だったので、中国には女性の裁縫や芸事の上達を願う行事

《乞巧奠》（きっこうでん）がありました。日本にも奈良時代に伝えられました。

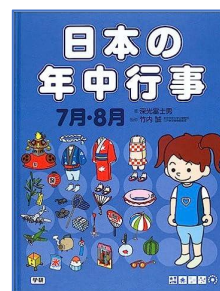
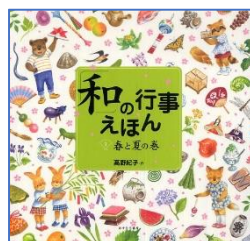
「乞巧」は上達を願うこと。「奠」は「まつる」という意味です。

江戸時代に自分の願いを短冊に書いてつるすようになり、

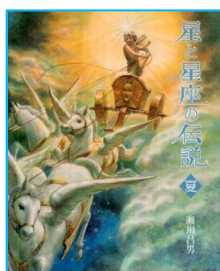
だんだん今の形になってきました。

『「和」の行事えほん①春と夏の巻』高野紀子 38/タ

『日本の年中行事 7・8月』深光富士男 38/フ



こちらの本にも、七夕に関することが載っています。



『星と星座の伝説 夏』
瀬川昌男 小峰書店
44/セ/2



『つくろう！食べよう！行事食②
花見からお盆』坂本廣子
少年写真新聞社 596/サ/2

夏休みの開館日

7/22（月）～7/29（月）

9：00～12：00

天候や都合により、休館になることがあります。
ご了承ください。

